

■ アンクルモール(ミニ)工法

φ200~φ500m/m

長距離礫地盤にも対応

■ 概要

アンクルモールミニ工法はアンクルモール工法の性能を改良し、且つ小型の円形立坑からの発進を可能にした小口径泥水推進工法です。

■ 特長

- 呼び径200~300はφ2mの円形立坑から呼び径350~500はφ2.5mの円形立坑から分割発進可能です。
- 到達も小さな立坑より分割回収が出来ます。
- 4本スポークの採用により掘削能力が向上しました。
- 反射型方向誘導装置(RSG)により、高い施工精度が得られます。



呼び径	mm	200	250	300	350	400	450	500
掘進機外径	mm	336	375	432	490	545	605	660
掘進機全長	mm	2,166	2,150	2,213	2,001	1,988	1,840	1,871
掘進機質量	kg	420	570	780	955	1,140	1,420	1,672
電動機	kW	0.75	1.5	2.2	3.7	3.7	5.5	5.5
取込最大礫径	mm	95	110	130	145	180	190	210
掘内/パイプ/止水弁 管径	—	40A	50A					

単位は、国際単位系によるSI単位表示。()内の非SI単位は参考値です。

適用管	—	ID200~300HPX1m	ID350~500HPX1.2m
管中心高	mm	450	600
全ストローク	mm	1,390	1,650
総質量	kg	約1,000	約2,000
発進台	mm	1,010×1,800×695	1,250×2,210×1,085
形式	—	MP-M5.5K-300(1)	MP-M7.5K-300(1)
仕様電動機	—	5.5kW×4P×200/220V	7.5kW×4P×200/220V
タンク油量	ℓ	200	300
質量(油含む)	kg	約520	約680